

様式第二号の九(第八条の四の六関係) **※前年度、様式第二号の八で報告した事業者の使用様式**

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月25日

山梨県知事 殿

提出者

住 所 川崎市中原区田尻町61番地

氏 名 株式会社 織戸組

代表取締役社長 織戸 一郎

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 044-555-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	株式会社 織戸組 南アルプス事業所(旧 山梨白根工場)
事 業 場 の 所 在 地	山梨県南アルプス市駒場148-1
事 業 の 種 類	採石業、砂利採取業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和 6年 4月 1日～令和 7年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	50,000t	全 処 理 委 託 量	t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	50,000t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

## 計画の実施状況

## (産業廃棄物の種類: 汚泥)

2

不要物等発生量

量物賞有

自ら直接  
再生利用した量

排 量  
① 44,772t

項目	実績値
①排出量	44,772t

行つた量	⑤自ら熱回収を行つた量 ⑦自ら中間処理により減
44,112t	

⑨口に生立たれへば  
海上洋投入処分を行つた量

⑩全処理委託量

⑪認定処理業者への

(12) 再生利用業者への処理 委託量	(13) 熱回収認定業者への処理 委託量	(14) 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理 委託量
------------------------	-------------------------	--

自ら中間処理した後  
再生利用した量

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量

## ⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量

自ら中間処理した量

④のうち熱回収を行った量

## ⑩のうち再生利用率 業者への処理委託量

⑩ うち熱回収認定業者への処理委託量  
(13)

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

(第2面)

## (任意) 事業系一般廃棄物に関する事項

自ら行う事業系一般廃棄物の処理施設への搬入に関する事項							
① 現 状	【前年度（ 年度）実績】						
	一般廃棄物の種類						
排出量	kg	kg	kg	kg	kg	kg	
② 計 画	【目標】						
	一般廃棄物の種類						
排出量	kg	kg	kg	kg	kg	kg	
③ 実 績	【実績（ 年度）実績】						
	一般廃棄物の種類						
排出量	kg	kg	kg	kg	kg	kg	
(実施した取組)							
許可業者への処理の委託に関する事項							
① 現 状	【前年度（ 年度）実績】						
	一般廃棄物の種類						
排出量	kg	kg	kg	kg	kg	kg	
② 計 画	【目標】						
	一般廃棄物の種類						
排出量	kg	kg	kg	kg	kg	kg	
③ 実 績	【実績（ 年度）実績】						
	一般廃棄物の種類						
排出量	kg	kg	kg	kg	kg	kg	
(実施した取組)							

備考

(第1面)～(第2面)について(法で定める事項)

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第3面)について(事業系一般廃棄物に関する事項で記入は任意です)

- ・前年度、処理計画書(事業系一般廃棄物に関する事項)に記入された方は、提出をお願いします。
- ・同封しました「トライ産廃スリム」の対象として、事業系一般廃棄物も含まれます。